交野市議選 話題の新人 松本氏（自民）が立候補へ

「交野生まれの交野市育ち、そんな交野が大好きだ。良さは十分に知り尽くしているし、悪いところだけを取り除き、いま以上により良い街にしたい」と別に気負う訳でもなく、然りげ無く坦坦と語る交野市向井田1丁目の松本直高氏（39歳）、9月11日投開票の交野市議選挙に立候補する意向を固めた事を河北新聞社に明らかにした。自身のブログには「10代を暴れ回り高校を中退、同時に改心し、自分の可能性を追求し、若くして税理士、行政書士の事務所を開設するまでに至った」波乱に富んだ人生。立命館大学大学院（経営学研究科博士課程前期課程）時にある人物との出会いで「将来は政治家の道も」と心密かに思っていたが、段取りを終えた今、その思いはまさに熱く燃えたぎる。異色の若手大型新人と目される松本氏に聞いた。

愚行から一念発起 税理士 行政書士 として活躍

交野市向井田1の48の16にある瀟洒な建物、モダンな建築の馥郁とした香りが辺り一面に漂う中、自宅1階の事務所に通されてのインタビュー。

＊　＊　＊

――あなたのブログで知られたのかどうか分からないが、世間の噂を要約すると何でも「交野市議選にドエライ新人候補が名乗りを上げるそうや。高校時分は悪ガキで、その後は一転して努力し難関の税理士や行政書士の資格を得、そのジャンルのエキスパートとして活躍している物凄い人。魅力のある人や」と言った声が聞かれるが。

松本　有難い話ですけど、当の本人は仕事の方が忙しく、さあ、これからその方向に向けて（立候補）なんやかやと準備を進めて行かねばなりません。まあそんな段階ではあります。

――交野で生まれ、交野育ちと。

松本　はいそうです。交野小学校から交野第一中学校で自宅とは目と鼻の先のところです。事務所の関係で大阪市内にシフトを敷いていますが、自宅に戻ると『交野に帰ってきた』という安心感と、第一空気が違いますものね。根っから交野というところが大好きです。

――松本さんのブログや噂によると、高校時代は手が付けられないほどの悪ガキ（失礼！）いや暴れ回り挙句に中退したとか。

松本　いやーいささか誇張された部分がありますが、概ねそんなところですかね。小さい時分、それこそ大学は私にとって柄でもなし、高校の時もまさか自分が交高に行けるほどの器もないと思っていたものです。しかし、現実には交高に通うようになりました。勉学に励むと言っても、前述の大学は夢物語でしたから、何を目標にしての勉学なのかが分からず、自分を見失いかけました。むしろアルバイトの方が面白かったですね。小、中、高と学校のチャイムが聞こえるほど自宅が近かったものですから、「行って来ます」と家を出たら「もう学校」、「先生さようなら」と言ったら「もう自宅」そんな繰り返しの日々が嫌になった事も確かです。やっぱり甘えの構造が支配していたんでしょうかね。

――で、中退なさった。

松本　気が付けばという感じでしたね。中退した時、初めて気が付きましたね。やり場のない孤独感を味わった末に、〝社会に通用する俺〟はどこに居るんだという事を少し悟りました。これを改心したと言っていいんでしょうか。と同時に、「自分の可能性の追求」を決意したという訳です。生まれて初めてというほどに猛勉強し、大学入学資格検定に合格。近畿大学商経学部商学科に入学、平成8年に卒業するまでに行政書士、宅建主任者の資格を取得しました。

――そしてさらに上を目指した。

一念発起して交野市議選初出馬を表明した松本直高氏

生まれ育った交野を愛して39年

松本　可能性がある限りという事で、平成12年3月に立命館大学院経営研究科博士課程前期課程を修了しました。大学院生の時に、たまたま堺の議会を傍聴する機会がありました。それまで政治の世界なんて、という気持ちがあったのですが、その時20代の議員（後に国会議員となる）が理事者側と打打発止やっていましてね、「こういう政治家像もあるんだな。20代の若手議員が、しかも情熱を傾注して…」と鮮烈な印象も受けました。以来、行財政の勉強会にも積極参加するようになりました。「いつかは私も」と心密かに思ったりしたものです。

――行政書士と税理士の事務所はいつ？

松本　大学院修了と同時に税理士事務所に在職し、平成12年の11月に松本直高行政書士事務所を開業、それから約2年後に当税理士事務所も開業しました。

――役職も多く現在は？

松本　税理士、行政書士（アクトイレブン総合事務所所長）、関西福祉大学社会福祉学部の非常勤講師、特定非営利活動法人シビルブレイン代表理事、㈲アクトブレイン代表取締役、社会福祉法人かたの福祉会監事、社団法人東大阪東歯科医師会理事などをやっています。

◎自民党公認で

――今回、立候補しようとした経緯は？

松本　大阪府行政書士会経理部長、さらに大阪行政書士政治連盟幹事長を今5月で退任（歴任終了、他に日本行政書士政治連盟副幹事長も）する事もあって立候補に至りました。年齢もサンキュー（39）に達した事もあっての事です。

――これら政治連盟の推薦もあるとか。

松本　税理士、行政書士や土地家屋調査士の政治連盟からの推薦も有難くいただきました。さらに、このほど、有力府議の協力もいただいて、自民党公認も受けました。かくなる上は、専門家の知識と経験を存分に活かしつつ、魅力あふれる交野、安心して暮らせるシステムづくりを目指して行きたい。とは言っても交野の良いところは知り尽くしています。悪いところだけを除外する方向でまちづくりを構築したいと思います。